

生涯学習課が所管する指定管理施設の管理運営に関する協定及び事業計画 資料一覧

【ハケ岳荘】

ハケ岳荘の管理運営に関する基本協定の概要	P. 1
令和8年度協定の概要	P. 2
令和8年度事業計画概要	P. 4

【教育科学館】

令和8年度協定の概要	P. 10
令和8年度事業計画概要	P. 12

【グリーンカレッジホール】

令和8年度協定の概要	P. 17
令和8年度事業計画概要	P. 19

【郷土芸能伝承館】

令和8年度協定の概要	P. 24
令和8年度事業計画概要	P. 26

板橋区立八ヶ岳荘の管理運営に関する基本協定の概要

生涯学習課

第4期指定期間満了に伴い、令和7年第4回区議会定例会（令和7年12月12日本会議）にて指定された第5期指定管理者（特定非営利活動法人国際自然大学校）と新たに「東京都板橋区八ヶ岳荘の管理運営に関する基本協定」（以下、「基本協定」という。）を締結する。

新たに締結する基本協定は、第4期指定期間における基本協定より主に以下の項目について変更したものである。

○ 基本協定

1 第3条 指定の期間 の更新

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

2 その他 ・乙名義変更

「特定非営利活動法人国際自然大学校」の単独名義に変更。

八ヶ岳荘の管理運営に関する令和8年度協定の概要

生涯学習課

○ 年度協定

- 1 第2条 協定期間
令和8年4月1日から令和13年3月31日まで
- 2 第5条 指定管理委託料
第2項 甲が乙に払う指定管理料は、金112,658,000円とする。
※前年度比で11,495,600円増
(指定管理者再選定による)
※詳細は事業計画概要の「2 令和8年度収支計画概要」参照
- 3 その他 年度表記の更新

○ 管理運営業務仕様書

- 1 (P.40) 【変更】
第2章 2 従業員等配置
(4) 食品アレルギー対応について知見を持つ責任者の配置
- 2 (P.70) 【内容変更】
令和8年度 富士見高原移動教室日程
日程表(実地踏査2件、夏季・秋季17校、冬季6校)
- 3 (P.71) 【内容変更】
令和8年度 青健野外活動日程
日程一覧(11地区)
※板橋、熊野、仲町、大谷口、常盤台、中台、蓮根、舟渡、前野、
下赤塚、徳丸
- 4 その他 文言整理

○ 収支計画書 【内容変更】

別紙2 令和8年度 収支計画書

(1) 収入

項 目	金 額	備 考
利用料金収入	■■■■■ 円	
食事料金収入	■■■■■ 円	
指定管理料	112,658,000 円	
合 計 額	■■■■■ 円	

(2) 支出

項 目	金 額	備 考
人件費	■■■■■ 円	
維持管理経費	■■■■■ 円	
食材費	■■■■■ 円	食事料金収入を財源とする
修繕・工事費	1,500,000 円	年度終了後清算
浄化槽整備委託	1,958,000 円	
本社経費	■■■■■ 円	
営業利益	■■■■■ 円	
合 計 額	■■■■■ 円	

令和8年度 八ヶ岳荘指定管理者事業計画概要

生涯学習課

指定管理者 特定非営利活動法人国際自然大学校

指定管理期間 令和8年4月1日～令和13年3月31日

1 事業計画概要

(1) 管理運営上の基本方針

【基本理念】

- ① 移動教室、青少年健全育成事業等の区主催事業において、子どもたちの自然体験や集団生活体験を全面的に支援することで、青少年の健全な育成に貢献する（重点化項目）。
- ② 施設の認知度と利用者の増加を図り、社会教育団体の活動拠点および一般区民等の健康増進および自然とのふれあいの場としての施設の価値向上をめざす。

【事業テーマ】

- ① 心ゆたかな児童・生徒の育成に寄与
- ② みんながまた来たくなる自然体験活動の実施
- ③ 安心できる指導者による支援

(2) 利用料金（消費税込） ※3歳以下は無料

宿泊施設	在住・在勤・在学	区分	施設使用料 (1人1泊あたり)
しらかば棟・からまつ棟 研修棟（3階）	区内	大人（15歳以上）	2,800円
		こども （4歳～14歳）	1,000円
	区外	大人（15歳以上）	4,200円
		こども （4歳～14歳）	1,500円
野外宿泊施設 （キャンピング resort エリア キャンパステント）	区内	大人（15歳以上）	3,500円
		こども （4歳～14歳）	1,250円
	区外	大人（15歳以上）	5,250円
		こども （4歳～14歳）	1,875円
野外宿泊施設 （キャンプサイト）	区内	大人（15歳以上）	560円
		こども （4歳～14歳）	200円

	区外	大人（15 歳以上）	840 円
		こども （4 歳～14 歳）	300 円
野外炊飯施設 （キャンピング resort エリア バーベキューデッキ）	区内	大人（15 歳以上）	560 円
		こども （4 歳～14 歳）	200 円
	区外	大人（15 歳以上）	840 円
		こども （4 歳～14 歳）	300 円
野外炊飯施設 （アウトドアキッチンエリア）	区内	大人（15 歳以上）	560 円
		こども （4 歳～14 歳）	200 円
	区外	大人（15 歳以上）	840 円
		こども （4 歳～14 歳）	300 円

（３）利用料の減免

区分	減額割合
障害者手帳の交付を受けている者	５割減
区内の私立小中学校等が教育目的のために利用する場合	３割減
板橋区又は教育委員会が行政目的のために利用する場合	免除
板橋区立の小中学校及び特別支援学校が教育目的で利用する場合	免除
青少年健全育成地区委員会が教育目的で利用する場合	免除

（４）休館日

保守点検等実施日の年間 36 日

※冬季移動教室期間を除き、からまつ棟及び屋外施設については、11 月から 3 月まで閉鎖する。

※東京都板橋区立八ヶ岳荘条例にて休業日となっている 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までは、区民の余暇活動の促進に寄与するため開館する。

（５）食事

【料金（消費税込）】

区分	朝食	昼食	弁当 (昼食)	夕食	子ども夕食
一般利用者	630円	770円	770円	1,520円	1,000円
一般団体（移動教室・青健団体以外）	600円 (小:450円)			940円 (小:650円)	
移動教室	600円			940円	—
※青健等団体	一般利用者又は移動教室から選択			一般食又は移動教室食から選択	—

さらに、年末年始限定でプレミアム食事を提供する（料金は大人：夕食 3,000 円、朝食 1,600 円、子ども：夕食 1,500 円、朝食 1,000 円程度を予定）。

【バランスの取れた食事の提供】

以下の5点を重要項目として食事を提供する。

- ① 特別食への柔軟な対応（アレルギー・宗教上の食物制限に対応）
- ② 提供時間の厳守と臨機応変な対応（団体食）
- ③ メニューの改善と満足度の向上（一般食）
 - ・質の良い食材仕入れや、地元食材を活用した長野県の郷土料理の提供等
 - ・最大3泊4日の宿泊者が飽きないように、季節ごとに基本となる3種類のメニューを用意
- ④ バイキング形式の導入（一般食）
- ⑤ 団体食のメニューの見直し（団体食）
 - ・栄養バランスと彩りを意識し、抜本的にメニューを見直し
 - ・一般団体向けに、園児～小学2年生を対象とした団体メニューのお子様サイズを設定

【食事の安全性向上に関する対策強化】

- ・アレルギー対応マニュアルの遵守及び各種工程の複数名による確認の徹底
 - ※アレルギー対応食はトレーや袋を違う色・形にするなど視覚的に工夫
 - ※アレルギー対応食の提供は料理長（料理長代理）が直接手渡し
- ・HACCP方式の衛生管理、作業管理票の活用、外部食品衛生コンサルの活用

【夕食時の特別料理】

品名	価格
極：（信州牛ステーキ、信州サーモンのお造り、花豆とわらびの煮物）	1,980円
彩：（信州サーモンのお造り、花豆とわらびの煮物）	980円
信州鶏ときのこの鍋（1人前）※注文は2人前から	1,500円
季節の天ぷら盛り合わせ5種（1人前）※注文は2人前から	900円

馬刺し（2～3 人前）	1,500 円
鶏唐揚げ（5 個）	450 円
枝豆	300 円
フライドポテト	350 円

（6）人員体制

役職・職種	雇用形態	人数

（7）研修計画

基本的研修：接遇・コンプライアンス（個人情報保護含む）・安全管理防災訓練・アレルギー対応等

事業担当者：移動教室受入れ・自然体験活動指導技術研修

外部研修：青少年教育施設協議会・環境教育関東ミーティング

（8）委託業務

- ・日常点検と定期点検のベストミックスによる二重の点検（予防保全）
- ・業務水準を上回る保守点検計画の作成

（9）移動教室・青少年健全育成事業への協力

① 移動教室

（春季5校、秋季12校、冬季6校）の受入れ及び活動支援

② 青少年健全育成事業団体（11地区）の受入れ及び活動支援

- ③ 綿密な打ち合わせによる活動サポート・オーダーメイドプログラムの作成
- ④ 食物アレルギー（宗教上の対応含む）の対応・適切な応急措置（ケガ等）
- ⑤ 利用者満足度（アンケート）調査、利用者（子ども含む）聞き取り調査による意見・要望の改善

（９）広報活動等利用者拡大に向けた取組

- ① リーフレットの活用（板橋区内・八ヶ岳エリアの集客スポットでの配布）
- ② 自主事業の拡充による利用者満足度の向上
- ③ 施設ウェブサイトの充実
- ④ 区内、区外のイベント出展
- ⑤ 八ヶ岳荘フェスティバルの開催による地元へのPR

（10）自主事業

- ① 体験活動（クラフト体験、森の観察会、アウトドアクッキング体験 等）
- ② 宿泊イベント（初めてのテント泊・お泊り森の幼稚園・親子キャンプ等）
- ③ 日帰りイベント（八ヶ岳 DE 婚活・八ヶ岳フェスティバル等）
- ④ 移動教室・青健事業、団体向けプログラム（クラフト体験、野外活動体験 等）
- ⑤ 物販・貸出事業
（飲料自動販売機設置、アウトドア・アメニティ用品等、お土産※期間限定）

（11）サービス水準（指定管理業務における達成すべき下記の具体的目標値）

- ① 利用者の増加
- ② 移動教室・青少年健全育成事業の満足度
- ③ 利用者満足度

2 令和8年度収支計画概要

（１）収入

項 目	令和8年度計画	令和7年度計画	増 減	主な増減理由等
利用料金	■■■■円	■■■■円	■■■■円	■■■■
食事料金	■■■■円	■■■■円	■■■■円	
指定管理委託料	112,658,000 円	101,162,400 円	11,495,600 円	指定管理再選定による増
合計	■■■■円	■■■■円	■■■■円	

（２）支出

項 目	令和8年度計画	令和7年度計画	増 減	主な増減理由等
人件費	■■■■円	■■■■円	■■■■円	■■■■
維持管理経費	■■■■円	■■■■円	■■■■円	
食材費	■■■■円	■■■■円	■■■■円	■■■■
修繕・工事費	1,500,000 円	1,000,000 円	500,000 円	

大型キャンパス テント購入	0 円	587,400 円	△587,400 円	3 年毎の更新完了
浄化槽整備委託	1,958,000 円	0 円	1,958,000 円	
本社経費	■ 円	■ 円	■ 円	
営業利益	■ 円	■ 円	■ 円	
合計	■ 円	■ 円	■ 円	

3 令和8年度の主な変更点

(1) からまつ棟の利用時期の拡充

11 月から 3 月のからまつ棟について、移動教室や青健事業の利用時以外、7 名以上の団体が通年で利用できるように拡充。

(2) 乳幼児向け遊び場の設置

時期に応じて管理棟の 2 階の交流ラウンジ又は研修棟 2 階多目的室に乳幼児が安全に遊べる場所を設置。

(3) インターネット環境の改善

既存の機器の見直しや衛星インターネットサービスのスターリンク (Starlink) の導入を検討。

(4) 食事内容の変更

一般朝食にバイキングを導入するほか、各種メニューの見直し。

教育科学館の管理運営に関する令和8年度協定の概要

生涯学習課

○ 年度協定

- 1 第2条 協定期間 の更新
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで
- 2 第5条 管理業務経費 の変更
令和8年度管理業務指定管理料 197,446,948 円
(令和7年度管理業務指定管理料 184,870,200 円)
※前年度から、12,576,748 円の増額
(主に人件費、維持管理費、工事・修繕費の増、事業運営費の減)
- 第3項 管理業務指定管理料のうち、修繕・工事費金 6,000,000 円については
年度終了後、余剰金が発生した場合は、甲乙確認後、乙は甲に返還する
ものとする。
※前年度から 2,500,000 円の増額
- 第4項 管理業務指定管理料のうち、「中水系統給水ポンプ整備委託」および「冷
却水ポンプ更新委託」に要する経費である金 2,530,000 円については
購入後、余剰金が発生した場合は甲乙確認後、乙は甲に返還するものと
する。
- 3 その他 年度表記の更新

○ 管理運営業務仕様書（年度協定 別紙1）

- 1 第3章 第2節 企画事業に関する業務
(P.21) 別表1
【内容変更】現在の事業内容に基づく事業区分の整理
※事業区分の詳細は「令和8年度教育科学館事業計画書のとおり」

(P.22～24) ●企画事業の概要
【内容変更】上記事業区分の整理に伴う各事業概要の変更
- 2 第3章 第5節 賃借（リース）物件管理業務
(P.63) 1 賃借物件
【内容変更】再リース期間の変更 R7.4.1～R8.3.31 → R8.4.1～R9.3.31

○ 令和8年度収支計画書（年度協定 別紙2）

（1）収入

項 目	金 額	備 考
プラネタリウム観覧料	■■■■■ 円	
施設貸出使用料	■■■■■ 円	
各種教室参加費等	■■■■■ 円	
コンサート入場料	■■■■■ 円	
管理業務指定管理料	197,446,948 円	
合 計 額	■■■■■ 円	

（2）支出

項 目	金 額	備 考
人件費	■■■■■ 円	
維持管理費	■■■■■ 円	
事業運営費	■■■■■ 円	
工事・修繕費	6,000,000 円	年度終了後清算
政策的改修等	2,530,000 円	年度終了後清算
本社経費	■■■■■ 円	
営業利益	■■■■■ 円	
合 計 額	■■■■■ 円	

令和8年度教育科学館指定管理者事業計画概要

生涯学習課

指定管理者 共同事業体名：CTC共同事業体
 (株式会社コングレ、株式会社東急コミュニティー)
 指定管理期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)

1 事業計画概要

(1) 施設概要

【休館日】

- ①月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日の場合は、その直後の休日以外の日)
 ※7月21日、1月4日、3月29日は開館
- ②12月29日から翌年1月3日まで
- ③臨時休館日 7月14日、7月15日、7月16日、7月17日(夏休みイベント準備)

【開館時間】

午前9時から午後9時30分
 ※夜間業務等がない場合は、午後4時30分で閉館(学校夏季休業期間は午後5時)

(2) 管理運営業務

施設運営業務、受付・窓口業務、利用者へのサービス及び相談業務、緊急時の対応、
 経理・庶務事務等について

(3) 人員配置計画(常勤職員)

役 職	人数	担当業務

(4) 安全管理

危機管理対策マニュアル、緊急時の対応、緊急時対策委員会の設置、訓練計画、緊急時連絡体制・緊急時館内連絡（誘導）体制について

(5) 研修計画

接遇・情報セキュリティ（個人情報保護含む）・環境マネジメント・防火管理・展示・事業運営・全国科学博物館協議会等の研修について

(6) 個人情報・情報公開の取扱い

基本方針及び具体策、具体的活動内容と留意事項について

(7) 令和8年度収支計画

①収入計画

項 目	8 年度計画	7 年度計画	増 減	増減理由
プラネタリウム 観覧料	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
施設貸出使用料	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
各種教室参加費 等	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
プラネタリウム コンサート入場料	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
管理業務指定管 理料	197,446,948 円	184,870,200 円	12,576,748 円	人件費単価の見直し・修繕案件の増加による増
合 計	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	

②支出計画

項 目	8 年度計画	7 年度計画	増 減	増減理由
人件費	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■
維持管理費	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
事業運営費	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■
工事・修繕費	6,000,000 円	3,500,000 円	2,500,000 円	修繕案件の増加による増
政策的改修等	2,530,000 円	541,200 円	1,988,800 円	中水系統給水ポンプ整備委託・冷却水ポンプ更新委託
本社経費	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	

営業利益	■●●●●円	■●●●●円	■●●●●円	
合 計	■●●●●円	■●●●●円	■●●●●円	

③利用料金

【貸出施設使用料】

施設 \ 利用区分	午前（午前 9 時～正午まで）	午後（午後 1 時～午後 4 時まで）	夜間（午後 5 時 30 分～午後 9 時 30 まで）
研修室	2,700 円	2,700 円	5,000 円

【プラネタリウム観覧料】

区 分	観覧料（1 人 1 回につき） 消費税込	
	個 人	団 体
おとな	350 円	250 円
こども	120 円	95 円

（８）事業計画

①令和 8 年度の事業運営に関する基本方針（昨年度から変更なし）

<事業コンセプト>

「人を展示する科学館～教えてもらう科学館から気づきをもたらす科学館へ～」

<事業目標>

全ての人が「ここは私の科学館です」と思うようになること

<運営の方向性>

教育科学館では、主体的かつ自然な形で新しい学びと出合うため、指定管理 1 年目より「人を展示する科学館」をコンセプトとして設定し、実証的に活動してきた。指定管理最終年度の 5 年目である今年度は、このコンセプトに対する課題や効果を整理し、その成果に基づく活動を展開する。引き続き教育科学館職員だけでなく、より多くの人々が教育科学館に集い交流するための施策を実施していく。

②令和 8 年度の重点事業

- ・ 研究員とそのほかの人々による常設展示
- ・ 板橋ラーニングパーク構想関連事業の拡充
- ・ ラボ事業への外部研究員や地域人材の招聘
- ・ サポートメンバー企画の拡充
- ・ 板橋区内だけでなく、よりエリアを広げた交流
例：「いたばしじゅう研究作品コンテスト」への応募を板橋区外からも受け入れ

③令和 8 年度の事業体系（事業の実態に合わせ体系を調整）

区分	事業名	概要
1) 展示	①常設展示	常設展示の開放、解説パネルや展示物の更新
	②企画展	教育科学館ならではの、多様な人々が積極的に関わりあう、多様な体験的手法による企画展
2) S T E A M ・ 探 究	①PBL重点型事業	プロジェクト・ベースド・ラーニングの学習手法を軸とした、領域越境型の継続的事業など
	②クリエイティブ重点型事業	クリエイティビティの体験をテーマとした、アートやプログラミングを用いたワークショップなど
3) ラボ事業	①館内ラボ	職員をはじめとした多様な人々の興味関心をきっかけとした研究活動と、その成果発表としてのワークショップなど ※活動フィールドにより分類
	②館外ラボ	
4) プラネタリウムドーム	①レギュラー（中高生以上一般向け投影）	星空解説や宇宙・天文に関するすこし踏み込んだ内容だけでなく、分野に限らず最先端のトピックス等も扱う（生解説あるいはドームシネマ）
	②レギュラー（小学生以上の幅広い層向け投影）	①より幅広い年齢層に訴求する内容
	③レギュラー（幼児～未就学児向け投影）	プラネタリウムドーム体験の入り口となるものを提供
	④イベント型プラネタリウムドーム事業	イベントごとに多様なターゲット設定と内容（時宜的な内容、絵本や、音楽など）を実施
	⑤各種団体	未就学、小学校、中学校、高等学校、大学、一般、シニア、介護施設、市民大学等を対象として、内容をカスタマイズして実施
6) 広報/ブランド戦略	①各媒体による広報活動	WEB媒体や紙媒体による広報活動とデータ解析による効果検証
	②広報チャンネル拡大のための活動	各メディアへの営業活動、他施設広報担当との連携活動
	③メディア露出のアーカイブ	各メディアへの記事露出のアーカイブと検証
自主事業	①特別広報活動	科学館オリジナルグッズやカプセルトイの販売など
	②特別教育活動	多様かつ幅広いニーズに対応した、さらなる学びの深まりをもたらす講座やワークショップを実施

(9) 委託業務および賃借（リース）物件管理業務

施設清掃、機械警備、環境測定、各種設備保守点検等について専門業者に委託。また、中央監視装置、プラネタリウムコンソールなど、区が契約しているリース物件についても適切に管理する。

2 令和8年度の主な変更点

(1) 事業体系の再構成

「STEAM・探求」について、既存の「科学技術重点型事業」は、ラボ事業で扱う領域を上位概念とするために「ラボ事業」の下位概念として再編。また、「人を展示する科学館」を効果的に具現化するためには、多様な人々と継続的に関わりあいながら、共に創り上げていくプロジェクトとして実施する事業が必要であることから、各項目に散らばっていたこれに類する事業を再編し「PBL 重点型事業」として独立した項目を新設。既存の「プログラミング／アート重点型事業」は、クリエイティビティの獲得を目的として明確化し、手法を限定しないように事業名を「クリエイティブ重点型事業」に変更。

既存の「連携事業」について、今までの運営により、館内事業全般において様々な相手先との連携要素が定着したため、連携することが当たり前になった理想的な現在の実態に則する形で、他事業項目に振り分けて廃止する。

グリーンカレッジホールの管理運営に関する令和8年度協定の概要

生涯学習課

○ 年度協定

- 1 第2条 協定期間
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで
- 2 第5条 指定管理委託料
第2項 甲が乙に払う指定管理料は、金 52,461,945 円とする。
※昨年度比で 7,609,017 円増
(主に人件費、修繕費(給湯器取換委託含む)の増)
※詳細は事業計画概要の「3 令和8年度収支計画概要」参照
- 第4項 管理業務指定管理料のうち、「給湯器取替委託」に要する経費である金 1,168,420 円については購入後、余剰金が発生した場合は甲乙確認後、乙は甲に返還するものとする。
- 3 その他 年度表記の更新

○ 管理運営業務仕様書

- 1 (P.10) 電気料金の取扱いの変更
実使用量に応じたふれあい館との分担に変更
- 2 (P.11) 職員の配置に係る変更
館長または副館長の常駐についての記載を実態に合わせ削除
- 3 (P.13) GC講座及び関連事業に係る運営補助業務の変更
「講義動画の録画・配信」を追加し、役割分担を整理・明確化
- 4 その他
軽微な文言修正や構成変更

○令和8年度収支計画概要

【収 入】

項 目	金 額 円	備 考
指定管理委託料	52,461,945	
利用料収入		
合 計		

【支 出】

項 目	金 額 円	備 考
人件費		
事業運営費		
管理運営経費		
修繕・工事費	3,168,420	年度終了後清算
本社経費		
営業利益		
合 計		

令和8年度板橋区立グリーンカレッジホール指定管理事業計画概要

生涯学習課

指定管理者 アクティオ・板建総共同事業体

(代表企業：アクティオ株式会社 構成企業：板橋建物総合管理共同組合)

指定管理期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

1 事業計画概要

(1) 管理運営の基本理念

施設理解と地域把握を踏まえ、民間の力・強みを最大限に活かし、施設の新しい価値を創造する。この新しい価値の創造を促進させるため、施設理解と地域把握にもとづき課題を抽出し、実施すべき対策を掲げ、PDCA サイクルを回しながら着実に管理運営の「目標」を達成する。

(2) 事業運営の方向性

- ①生涯学習・社会教育の拠点として、地域住民のつながり・コミュニティの場の提供
- ②一過性の学びではなく、互いに学び・教えあう活動を通じた喜びの創出
- ③キャリアデザインも含めた、生きていくうえで必要な知識・経験を身に付けるための学びの機会の提供

(3) 人員体制

職 名	業務分掌	身 分

2 管理業務の概要

(1) 施設及び付帯設備貸出業務

【利用料金】

利用区分 施設	午前 9:00～12:00	午後 13:00～17:00	夜間 17:30～21:30
教室 1	6,400円	8,400円	8,400円
教室 2	2,700円	3,400円	3,400円
教室 3	2,000円	2,500円	2,500円
ホール	9,000円	11,400円	11,400円
集会室 1	1,300円	1,700円	1,700円
集会室 2	1,300円	1,700円	1,700円

【利用料金の減免】

区分	減免する額
区が行政目的のために利用する場合	免除
区以外の官公署が行政目的のために利用する場合	5割相当額
公共的団体が公共の利益を図るために利用する場合	3割相当額
区立小中学校教育目的のために利用する場合	免除
区内の幼稚園、保育所等が教育目的又は保育目的のために利用する場合	5割相当額
区内の私立小中学校等が教育目的のために利用する場合	3割相当額
心身障がい者団体が公共の利益を図るために利用する場合	3割相当額

【休業日】

12月29日から1月3日まで

(2) 板橋グリーンカレッジ運営補助

受講生が講座に集中でき、講師が講師業務に専念できるように臨機応変にサポートし、受講生それぞれが個性と能力を最大限に発揮できる環境をと作る。

【運営補助業務の内容】

No.	内容	No.	内容
1	受講生決定通知	13	クラブ活動（自主サークル等）の育成
2	ポータルサイト運用	14	提案事業の実施

3	講座レジュメ印刷	15	グリーンカレッジホールに関する調査・統計等の業務
4	講座当日の案内	16	苦情等の処理
5	受講料徴収	17	受講生募集・決定等申込み受付の補助業務（CI 戦略グッズ配付を含む）
6	資料等の配布、保管、整理	18	PDCA サイクルによる業務の見直しと改善
7	講義動画の録画・配信	19	履修科目選択の周知・取りまとめ
8	案内表示の作成、ロビー、教室への掲示	20	発表会の運営・見学者の募集・レジュメの取りまとめ・印刷製本
9	教室内、視聴覚器材等及び講師用飲料等の準備、配置、片付け等	21	卒業レポート・論文の取りまとめ（不備のチェック・未提出者への連絡）
10	講座進行、講師対応（資料の調整や当日の応接など。講師の選定は除く）	22	公開講座の当日運営（受付・講師対応）
11	受講者アンケートの周知・集計	23	受講生へのポータルサイト操作補助（スマートフォン操作等）・説明会の実施
12	入学式、卒業式の補助（資料準備・当日運営補助・欠席者への資料・証書郵送）	24	ポータルサイトを使った受講生管理・情報発信・問合せ対応

（３）指定管理者提案事業

事業運営の方向性に基づく区民向け講座を以下のとおり実施する。

項目	事業名
地域交流・異世代間交流	地域交流コンサート（ジャズ・マリンバ・沖縄三線・吹奏楽・落語 等）
子どもの能力アップ 学びの循環と キャリアデザイン	・キッズイングリッシュ（ネイティブスピーカーとの交流体験・ハロウィンパーティ） ・夏休みこども塾 ・サイエンスアート Labo ・プログラミング ・運動能力を育てる講座（チアダンス、ヒップホップダンス 等）
サークル活動発表の 場づくり	・GCH 周年行事（17 周年アニバーサリー発表会・作品展） ・志村図書館での作品展示会

語学力の向上	・中国語体験教室 ・韓国語体験教室 ・英語教室①（実用英会話・経験者・前期コース） ・英語教室②（実用英会話・経験者・後期コース）
音楽・ダンスを楽しむ	・フラダンス教室（初中級コース） ・ウクレレ教室（基礎コース・ステップアップコース・発表会） ・大正琴体験教室 ・仲間と楽しむダンス教室 ・盆踊り教室
スキルと教養を高める	・実用書道教室 ・水彩画教室（初心者コース・レベルアップコース） ・鉛筆画講座（基礎コース・ステップアップコース） ・水墨画教室（初心者コース・初中級コース・作画コース） ・折り紙教室 ・ポジャギアート（韓国ふろしきラッピングアート） ・フラワーアレンジメント（春・秋のイベント、クリスマス編） ・親子で読もう絵本講座（～ハープの音色とともに～） ・教養美術講座（ヨーロッパ絵画を中心に）
健康の増進	・生きいき講座（IMSグループとのコラボ企画） ・イスヨガ教室 ・太極拳体験教室
中高生育成サポート	中高生オーケストラ育成

（４）施設・設備の維持管理等に関する業務

①館内設備管理業務：清掃、空調・換気ユニット設備管理運営、映像機器等管理、可動ステージ管理 等

リース物品管理業務：複写機等管理、駐車場管理

②建物設備に事故・故障・障害・誤作動その他緊急事態及びその兆候が発生した場合の速やかな対応、原状回復等の処置

③点検、検査、補修その他施設管理に関する作業の実施

④建物全体の共用施設・設備の維持管理について、日常の点検など不具合の発見や修繕の要請などの調整

⑤防火管理者の選任及び消防計画作成、機械警備による夜間の建物管理

（５）研修計画

接遇・危機管理（個人情報保護含む）・環境マネジメント・防火防災訓練・救命AED研修・館長会研修・防犯研修 等

(6) サービス水準

- ①多世代交流の促進
- ②地域交流の促進
- ③生涯学習・社会教育実践の場としての事業実施
- ④サークル活動の活性・活発化
- ⑤利用者数の増加と稼働率アップ

3 令和8年度収支計画概要

【収 入】 (円)

項 目	令和8年度	令和7年度	増 減	増減の理由等
指定管理委託料	52,461,945	44,852,928	7,609,017	人件費単価見直しによる増
利用料収入				
合 計				

【支 出】 (※) 精算項目 (円)

項 目	令和8年度	令和7年度	増 減	増減の理由等
人件費				
事業運営費				
管理運営経費				
修繕・工事・備品(※)	3,168,420	1,300,000	1,868,420	給湯器取替委託による増
本社経費				
営業利益				
合 計				

4 令和8年度の主な変更点

- (1) 職員体制の強化(非常勤職員1名増)
- (2) 板橋グリーンカレッジ運営補助業務の拡充(ポータルサイトシステム稼働)
- (3) 職員研修の新規追加(防犯研修)
- (4) こども塾の発展事業として、ハロウィンパーティを実施予定

板橋区立郷土芸能伝承館の管理運営に関する令和8年度協定の概要

生涯学習課

○ 年度協定

1 第2条 協定期間 の更新

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

2 第5条 指定管理料 の変更

第1項 令和8年度管理業務指定管理料 23,577,176 円
(令和7年度管理業務指定管理料 21,042,000 円)
前年度から2,535,176 円増
(主に人件費、太鼓購入費の増)

※詳細は、事業計画概要の「3 令和8年度収支計画概要」参照

第3項 令和8年度太鼓修繕費 396,440 円
(令和7年度太鼓修繕費 447,370 円)

第4項 太鼓購入費(清算項目)に関する項目を追加。また、第4項の追加にともない、第5項から第7項まで順次項番を繰り下げ。
令和8年度太鼓購入費 370,260 円

第5項 令和8年度手話通訳等派遣費用 27,000 円
(令和7年度手話通訳等派遣費用 26,000 円)

3 その他

- ・年度表記の更新
- ・別記2「指定管理料内訳書」
内訳金額を変更。
- ・文言整理

○ 収支計画書

(1) 収入

項 目	金 額	備 考
指定管理料	23,577,176 円	
施設利用料収入	円	
事業収入	円	
合 計 額	円	

(2) 支出

項 目	金 額	備 考
人件費	円	
事業運営費	円	うち手話通訳等派遣費用は、年度終了後清算
管理運営経費	円	
修繕・工事費	1,000,000 円	年度終了後清算
太鼓修繕費	396,440 円	年度終了後清算
太鼓購入費	370,260 円	年度終了後清算
本社経費	円	
営業利益	円	
合 計 額	円	

令和8年度板橋区立郷土芸能伝承館指定管理者事業計画概要

生涯学習課

指定管理者 株式会社サンワックス

指定管理期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）

1 事業計画概要

（1）管理運営の基本方針

- ① 公共性・公平性の確保
- ② 安心・安全の徹底
- ③ きめ細やかな対応
- ④ 民間ならではのノウハウの発揮
- ⑤ 地域との連携

（2）指定事業の実施

- ① 郷土芸能公開事業（11月実施）
- ② 室礼教室事業（6月・11月実施）

（3）施設利用料

利用区分	午 前 9:00～12:00	午 後 13:00～16:30	夜 間 17:30～21:30
施 設			
芸能練習室	2,400 円	2,800 円	2,800 円
集会室	3,100 円	3,400 円	3,400 円

（4）休業日

- ① 毎月第3月曜日（祝日にあたる場合はその直後の休日以外の日）
- ② 12月29日から1月3日まで

（5）利用料の減免（現行のとおり）

区 分	減免割合
区が行政目的のために利用する場合	免 除
区以外の官公庁が行政目的のために利用する場合	5 割減
公共的団体が公共の利益を図るために利用する場合	3 割減
区立小中学校が教育目的のために利用	免 除
区内の幼稚園、保育所等が教育又は保育目的のために利用する場合	5 割減
区内の私立小中学校等が教育目的のために利用する場合	3 割減
心身障がい者団体が公共の利益を図るために利用する場合	3 割減
板橋区文化財保護条例に規定する無形民俗文化財のうち民俗芸能の保持団体又は無形文化財の保持者若しくは団体が芸能を保存し、又は伝承する目的のために利用する場合	免 除

(6) 人員配置

役職・職種	雇用形態	人 数
合 計		

(7) 職員研修

個人情報保護研修、防災訓練、危機管理研修、接客・接遇研修、コンプライアンス研修、人権研修、環境マネジメント研修、郷土芸能勉強会

(8) 委託業務

定期清掃、空調設備保守点検、換気設備保守点検、害虫駆除、植栽剪定、排水設備清掃、建築設備定期点検、自動ドア保守点検、消防設備点検、機械警備業務を専門業者に委託

(9) サービス水準

指定期間内に達成すべき具体的目標と各年度の目標内訳を定めたサービス水準を設定

	具体的な目標	サービス水準		目標値	令和8年
1	登録団体数の増加	施設	新規団体登録数	1 団体/年	1 団体
2	利用者の増加	施設	施設利用率	44%	41%
3	自主事業の実施による地域文化活動の発展への貢献	自主事業	開催回数	15 回	14 回
4	指定事業の実施	指定事業	満足度	80%	76%
5	施設認知度の向上	ホームページ・Twitter	情報発信件数	135 件	130 件
6	施設の予防保全と安全管理	自社による設備一斉点検	実施回数	4 回/年	4 回
7	スタッフによる快適なサービス提供	研修・郷土芸能勉強会	実施回数	8 回/年	8 回
8	施設利用者の満足度の向上	利用者アンケート	総合満足度	91.3%	91.2%
9	地域・利用団体と連携した防災訓練の実施	防災訓練	実施回数	2 回/年	2 回
10	地域行事への参加	地域行事	参加回数	4 回	3 回

(10) 利用団体に関する事業

- ① 利用者懇談会
- ② 利用団体発表会（3月実施）

2 自主事業計画概要

(1) 令和8年度自主事業計画

No.	実施月	事業名	対象者	募集人員	参加料
1	4	郷土芸能上映会	一般	10 人	無料
2	4	旧粕谷家住宅季節の飾りつけ（五月人形）	施設見学者	—	無料
3	5	折り紙教室	小学生～一般	16 人	1,800 円
4	6	伝承館アフタヌーンコンサート	一般	20 人	1,000 円
5	7	クラフト講座	小学生～一般	16 人	1,500 円
6	9	初めての和楽器体験	小学生～一般	24 人	無料
7	10	郷土芸能上映会	一般	10 人	無料
8	11	折り紙教室（旧粕谷家住宅にて）	小学生～一般	16 人	1800 円
9	11	旧粕谷家住宅見学会	一般	15 人	無料
10	12	伝承館アフタヌーンコンサート	一般	20 人	1,000 円
11	1	和太鼓体験会	小学生～一般	20 人	無料
12	1	郷土芸能講座（田遊び）	一般	15 人	100 円
13	2	繭玉でうさぎのお雛様をつくろう	小学生～一般	16 人	750 円
14	2	旧粕谷家住宅季節の飾りつけ（雛人形）	—	—	無料

※参加状況により事業内容と開催を見直す場合があります。

3 令和8年度収支計画概要

(1) 収入

項 目	令和8年度	令和7年度	増 減	主な増減理由等
指定管理料	23,577,176 円	21,042,000 円	2,535,176 円	人件費の増、太鼓購入費等の増
利用料金収入	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
事業収入	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
合 計	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	

(2) 支出

項 目	令和8年度	令和7年度	増 減	増減の理由等
人件費	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ ■■■■■
事業運営費	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ ■■■■■
管理運営経費	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
修繕・工事費	1,000,000 円	1,000,000 円	0 円	
太鼓修繕費	396,440 円	447,370 円	△50,930 円	
太鼓購入費	370,260 円	—	370,260 円	新規購入による増

本社経費	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
営業利益	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
合 計	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	

4 令和8年度の主な変更点

- (1) 収支計画に太鼓購入費を追加。
- (2) サービス水準書に基づき、令和8年度目標数値に変更。